

参考資料

まちの姿7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち

- ①令和5年度狛江市市民意識調査
- ②狛江市のまちづくりに関するアンケート
(小・中学生アンケート)
- ③狛江高校まちづくりに関するアンケート
- ④狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ
- ⑤狛江市前期基本計画推進プラン
(令和4年度進捗状況報告書) 一部抜粋

①【令和5年度狛江市市民意識調査】

○調査概要

1 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「後期基本計画」を策定する上で、市民の狛江市に対する思いやこれからのまちづくりに期待すること等を把握し、検討の基礎資料とするため、市民意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年7月1日時点）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布・郵送又はWeb回答
- (5) 調査期間…令和5年7月31日～8月22日（23日間）

3 調査項目

- (1) 回答者属性（問1～問6）
- (2) 狛江市について（問7-1～問8-3）
- (3) 狛江市総合基本計画施策について（問9～問15）
- (4) 市政に関する意見・要望等（問16）

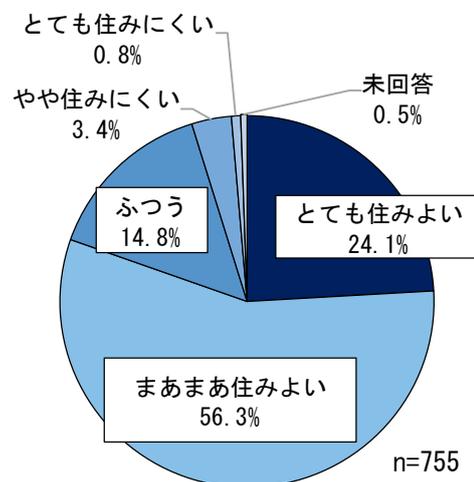
4 回収結果

755通（回収率30.2%）

○調査結果

問 狛江市は住みよいと思いますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

	票数	構成比
とても住みよい	182	24.1%
まあまあ住みよい	425	56.3%
ふつう	112	14.8%
やや住みにくい	26	3.4%
とても住みにくい	6	0.8%
未回答	4	0.5%
合計	755	



問 狛江市が住みよい理由は何ですか。(とても住みよい、まあまあ住みよいと答え
た方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	水と緑が豊かなまちだから	305	19.8%
2位	安心・安全に過ごせるまちだから	249	16.2%
3位	コンパクトさを活かしているまちだから	211	13.7%
4位	交通環境が良いまちだから	172	11.2%
5位	ごみの少ない、きれいなまちだから	88	5.7%
6位	子育てしやすいまちだから	59	3.8%
7位	健康に暮らせるまちだから	54	3.5%
8位	農業が盛んなまちだから	52	3.4%
9位	みんながやさしいまちだから	50	3.2%
10位	道路・排水が整備されているまちだから	47	3.1%
11位	お店が充実しているまちだから	44	2.9%
12位	地域のつながりが強いまちだから	39	2.5%
13位	にぎわいのあるまち(イベントなど)だから	32	2.1%
14位	美しい景観・まち並みのあるまちだから	31	2.0%
15位	その他	24	1.6%
16位	未回答	18	1.2%
17位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みやすいまちだから	16	1.0%
18位	歴史・文化財を大切にすまちだから	15	1.0%
19位	市民活動が盛んなまちだから	14	0.9%
20位	文化が育まれているまちだから	6	0.4%
21位	若者が多く活気のあるまちだから	5	0.3%
22位	スポーツが盛んなまちだから	4	0.3%
22位	教育環境が充実しているまちだから	3	0.2%
24位	生涯に渡り学び続けられるまちだから	1	0.1%
合 計		1,539	

問 狛江市が住みにくい理由は何ですか。(やや住みにくい、とても住みにくいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	お店が充実していないまちだから	19	21.6%
2位	道路・排水が整備されていないまちだから	9	10.2%
2位	その他	9	10.2%
4位	コンパクトさを活かしていないまちだから	6	6.8%
4位	交通環境が悪いまちだから	6	6.8%
6位	安心・安全に過ごせないまちだから	5	5.7%
6位	教育環境が充実していないまちだから	5	5.7%
8位	やさしさが足りないまちだから	4	4.5%
8位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みづらいまちだから	4	4.5%
8位	美しい景観・まち並みのないまちだから	4	4.5%
11位	子育てしづらいまちだから	3	3.4%
12位	水と緑が豊かではないまちだから	2	2.3%
12位	地域のつながりが弱いまちだから	2	2.3%
12位	にぎわいのないまち(イベントなど)だから	2	2.3%
12位	健康に暮らしづらいまちだから	2	2.3%
12位	ごみがありきれいではないまちだから	2	2.3%
17位	文化が育まれてないまちだから	1	1.1%
17位	若者が少なく活気のないまちだから	1	1.1%
17位	市民活動が盛んではないまちだから	1	1.1%
17位	未回答	1	1.1%
21位	農業が盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	歴史・文化財に触れにくいまちだから	0	0.0%
21位	スポーツが盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	生涯に渡り学び続けづらいまちだから	0	0.0%
合 計		88	

問 狛江市総合基本計画施策についてお聞きします。

それぞれの施策について施策が進んでいる（評価できる）と思うか、この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思うかについて選択肢の中から1つずつ選んでご回答ください。

(1) 施策が進んでいる（評価できる） と思いますか	とても そう思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち					
①水と緑の快適空間づくり	123	344	213	49	12
②都市環境の確保	76	258	310	72	20
③循環型社会の推進	111	301	244	57	24
④下水道機能の維持・向上	105	284	281	52	12
⑤市街地整備の推進	93	293	255	74	23
⑥道路・交通環境の充実	92	257	265	98	26

(2) この施策を優先して（継続して）進 めるべきだと思いますか	とてもそう 思う	ややそう思 う	どちら でもない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち					
①水と緑の快適空間づくり	294	274	134	18	7
②都市環境の確保	291	259	152	17	10
③循環型社会の推進	290	269	132	20	17
④下水道機能の維持・向上	350	240	117	10	9
⑤市街地整備の推進	314	263	128	15	12
⑥道路・交通環境の充実	338	247	124	15	9

問 次期基本計画又は市政に関してご意見、ご要望などございましたら、ご記入ください。（抜粋）

- ・多摩川の新しい道 毎回ウォーキングしていますが（水辺の楽校の森）の辺にベンチがあると私達老人にはうれしいです。
- ・今の自然かんきょうを保って欲しい。農業支援をして狛江の農地を守って欲しい 地産地消を進めて欲しい。農業体験の場を多く、作って欲しいです。
- ・多摩川を活用してのイベントを増やして欲しいです。
- ・プラゴミ無料に（又は、袋代を安く）していただけたら分別のやる気UPに！！
- ・まちの姿、②、④⑦について、重点的に進めていただきたいと思います。
- ・個々の植栽は広すぎる。昔、バス停の計画があったのに住民の反対で頓挫してとりあ

えず植物を植えてそのままな感じ。“緑”も大切ですが、子どもの安全を考えたら、ガードレールも必要です。車がつっこんだら、“ツツジ”では何の役にもたちません。

・プラスチック、ビニールゴミは、リサイクルするなら、有料袋での回収ではなく、ペットボトル、缶、ビン、古紙と同様に無料としてほしい。半透明の袋代は個人負担でよいので。

・もっと、公園や、子供が安心して、あそべる所を増やしてほしいです。

・道路幅が狭く、車の交通量が増し、歩行者との距離が接近、危険。

・“暮らす”場所として、治安の良さ、安心感は基本だと思います。ライフライン、インフラの充実も同様です。

・交通（市民バス）をもっと充実してほしい。もっと緑と水を増やして、人間に優しい街を作ってほしい。補助金などを頑張してほしい。

・建ぺい率ぎりぎりのアパートが多く（窓をあけたらすぐ目の前がとなりの建物や壁等という感じが息苦しい感じ）、住みにくいふんいきと全体の環境が合っていない。

・道路がとてもせまい通りがあり、歩きにくいのでなんとかしてほしい。

・さまざまな草花が咲き、さまざまな生き物がいることが環境の多様性と言えるのではないのでしょうか。そのあたりをあまり考えずに、一律に定期的に草刈りをしているように思えます。

・道路や橋梁等の整備は適切とは思いますが、所々に空き家や空き地があり、長期間整備されていないままだったりしています。

・ゴミ屋敷や雑草が生い茂ったり汚い環境とならないよう、調整頂けたらと思います。

・市民農園を含む農地が明らかに減少しており、農地が保全されるとはとても思えません。多摩地区の市の多くがこれといった特徴がない中、何か際立ったものが見つかればいいなと思います。ドラマなどでも狛江の場面が数多く見受けられるように、地道なアピールを継続する必要があると思います。

・狛江はフラットで妊婦さんから高齢者、障がい者まで外出しやすい歩きやすい街です。もっと歩道を整備し誰もが外出しやすい環境を作ることを希望します。

・畑がどんどん減りハウスメーカーの住宅ばかりに変わっていく街の風情の失落が、とにかく残念です。

・植栽が道路にはみ出て往来の妨げ、視界不良になっている場所が散見されます。ハチや毛虫が出てきたり、ゴミを放棄しやすくなったりします。歩行者も自転車も、快適に安心して通行できる道路環境の整備に努めていただけるとうれしいです。

・今後の気候を考えると子どもたちが遊ぶ場所（広場・公園等）には屋根などの日陰をつくるものが多く必要になると感じています。ご検討ください。

・都市環境の確保、循環型社会の推進、都市農業の推進など市の取り組みだけでは効果が限定的になってしまうものは、周辺自治体と共同で取り組んでいただくことを期待しております。

②【狛江市のまちづくりに関するアンケート（小・中学生アンケート）】

○調査概要

（１）調査目的

令和 7 年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、小・中学生が狛江にこれからどんなまちになってほしいと思うか等を把握し、検討の基礎資料とするため、小・中学生アンケートを実施した。

（２）調査設計

①小学生アンケート

- ・調査対象…市内小学校 5 年生
- ・児童数……605 人
- ・調査期間…令和 5 年 7 月 7 日～20 日

②中学生アンケート

- ・調査対象…市内中学校 2 年生
- ・生徒数……478 人
- ・調査期間…令和 5 年 7 月 7 日～20 日

（３）調査項目

①小学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

②中学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・大人になっても「狛江」に住み続けたいか（中学生のみ）
- ・その理由
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

（４）回答結果

- ①小学生アンケート 432 件（回答率 71.4%）
- ②中学生アンケート 376 件（回答率 78.7%）

小学生

問 狛江にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		回答数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境(かんきょう)にやさしいまち	213	17.3%	2位
2位	犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	210	17.0%	1位
3位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲(なか)が良いまち	162	13.1%	6位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	153	12.4%	4位
5位	地震や台風などの災害(さいがい)に強い安全なまち	110	8.9%	5位
6位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	92	7.5%	3位
7位	お年寄りや障(しょう)がいのある人がいきいきと過ごせるまち	86	7.0%	8位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	79	6.4%	7位
9位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	47	3.8%	9位
10位	狛江産の野菜や果物(くだもの)などがたくさん食べられるまち	26	2.1%	10位
11位	商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち	23	1.9%	11位
12位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	20	1.6%	12位
13位	そのほか	11	0.9%	13位

問 えらんだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【2 多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち】(一部抜粋)

- ・木を植える。川のゴミ拾いをする。自然について学ぶ機会を増やす
- ・自分で野菜を作ったりと、自然にふれあう。
- ・ゴミなど少なくする
- ・家の外見を、自然に合わせて作る。
- ・環境破壊をできるだけしなく動物たちにもあまり攻撃をしない
- ・小学校などで一人ひとつずつ植物を育て、植物の良さを知る。
- ・今残っている畑を、住宅街や車の駐車場などにしないで、そのまま残すように農家さん

や地域の人と協力する。なぜなら、私の通学路にあった畑が、今はもう家が立ってしまったり、駐車場などになってしまい、自然が感じられなくなって、なんだか寂しい感じがしたからです。

- ・自然を感じたいので、マンションなどの建物を増やしすぎないようにする。
- ・自然がたくさんある公園をたくさん作る。緑や川があるところにカフェを作る
- ・もう少し木や草などを増やしてほしい
- ・自然破壊しない
- ・川に外来種やゴミを捨てないで最後まで飼ったり、リサイクルする。
- ・公園に、虫や鳥などが住めるような木を植える。
- ・缶やペットボトルなどのポイ捨てをしないような看板を作ったり呼びかけたりする。ボランティアとしてゴミ拾いなどに参加する。
- ・もっと公園や道の横に植物や花を植える
- ・学校の畑などで、収穫体験のようなイベントを行う。
- ・工場などの人工物を少なくし、自然を増やす。
- ・できるだけ、ゴミを減らす。そして、自然を大切にし、自然の素晴らしさを知る。
- ・あまり建物を作りすぎずに自然を残す
- ・狛江市にもっと花などを増やすと良いと思います。
- ・ビルを多く建てないようにして自然をたいせつにする。
- ・ゴミはゴミ箱に捨てること
- ・植木などをして自然を増やす 環境に悪いことをしない（ゴミを捨てたりしない）
- ・人が住んでいない所（空き家）を壊して、そこに「木」や「公園」などを植えたり立てたりする。歩道の近くに植えられていた木を壊した所にコンクリートが貼られていたけれど、コンクリートではなく、もう1回木を植える。
- ・多摩川に緑地とか作って遊べる公園を作って欲しい
- ・自然と触れ合える施設を作ったりする。
- ・木を植える、自然を残して、歩きやすいように整備する。
- ・自然を感じられる公園を作る
- ・生き物と触れ合える。
- ・出来るだけ今ある自然を残す
- ・自然に関するイベントを増やす。
- ・多摩川や野川にポイ捨てしない、その他のゴミも落とさない、捨てない
- ・自分が管理している植物などは責任を持ってしっかり育てる。
- ・植樹する
- ・ビルとかを作ってもいいけど自然も大切にする町
- ・もっと自然が増えて「緑の町」というイメージの町がいい
- ・川や木を汚したり傷つけない。

- ・木を植えて木登りをできるようにしたい
- ・多摩川に魚がたくさんくるくらい綺麗な多摩川にしたい。
- ・畑をなくさないようにする。
- ・ゴミなどをポイ捨てしないように一人一人が気を付ける
- ・自然を使った、押し花教室など。
- ・ポイ捨てをしている人を少しでも減らすためにゴミを拾ったりして環境にやさしい街にできたらいいなと思いました。
- ・カブトムシやクワガタが来る森
- ・木を植えたり、外来種などを捕獲したりする。
- ・「ポイ捨てダメ」のポスターを増やす。
- ・自然に関するイベントをたくさん会際して、たくさん自然と触れ合ってもらう。
- ・多摩川のイベントなどに狛江市に住んでいる人が積極的に参加するまち
- ・自然を増やして、狛江を豊かにしてほしい。
- ・都会で自然が楽しめる場所は珍しいから家ではなく畑や公園を増やし2のゴミ捨てもすると自然を感じる。
- ・自然を綺麗にする
- ・桜祭りや花火大会など祭りがたくさん開催される
- ・公園や施設に花壇などを設置する。
- ・自然を大切にするようにポスターなどを作ったりする。

【3 ごみが少なく環境（かんきょう）にやさしいまち】（一部抜粋）

- ・1ヶ月に1回学校の周りを全ての学校で掃除をする。木や花を踏んだり蹴ったり、ぶら下がらないように呼びかけをするポスターを作る。
- ・分別 リサイクル ポイ捨てno
- ・環境に優しい町になるようにお店では、環境に優しい商品を販売する。環境の授業を取り入れる。
- ・各小学校で3ヶ月に一回、学校の範囲を掃除する
- ・面白いゴミ箱が、あればいいと思います
- ・ゴミを多摩川に捨てない。そのため、ゴミ拾いボランティアを、じっしするとういう。
- ・二酸化炭素の消費を減らす
- ・ゴミを川に捨てない ガムを紙に包んで捨てる ポイ捨てしない
- ・使い捨てプラスチックをあまり使わないようにする
- ・ゴミ箱をとこところに置くとポイすても少しはなくなると思います
- ・ポイ捨てをしている人を見かけたら注意する。
- ・ゴミを出す場所を決める

- ・ゴミ箱の数を増やして、ポスターに『ポイ捨て禁止』と書いたり、ゴミを減らすイベントを開いたりすればいいと思う。
- ・ゴミをなるべく捨てないように、食べ残しを少なくする。
- ・ゴミ拾いのイベントを開く・ポイ捨てがないようにチラシを作る・公園にひとつゴミ箱を設置する・ゴミ拾いについて何かを発表する
- ・水に溶けるプラスチックやリサイクル出来る物を増やす。
- ・ごみが減るように、土日などにゴミ拾いをする。
- ・様々な植物をいろんな場所に植えて、自然を大切にするように呼びかける。
- ・ペットボトルより水筒を勧める
- ・ごみを捨てている人を見かけたら、注意する。
- ・ゴミ箱の中に入れても、川に近いとゴミ箱から出てしまう場合があるから。ゴミが出にくいふたのついたゴミ箱に変えればいいと思う
- ・ゴミ箱をいろいろなところに置く
- ・ゴミを分別する
- ・多摩川はゴミが一切ない川でみんなが自由に遊べる。多摩川が大雨とかで浸水しないように災害に強い町。
- ・環境を守るために、ポスターなどを作る。
- ・道端や川などにゴミを捨てない。
- ・プラスチックのものを少なくして、月に一回学校でゴミ拾い
- ・ゴミをきちんと捨てるとポイントがもらえてポイントをたくさん貯めるとゴミ袋がもらえるなど捨てる側のメリットも作る。
- ・積極的にゴミ拾いをして行ったりボランティア大会を開催する
- ・人が歩く地面にポイ捨て禁止のマークを書く
- ・ゴミ拾い週間をつくり、拾ったゴミの重さを伝える。
- ・公園などで飲み会などが開かれりしているので看板などを立てたりする
- ・ごみが全然落ちていない環境を保つために1ヶ月ごとに掃除
- ・ゴミ拾い大会を実施する
- ・かんばんとかを作ってみんなに知らせる。
- ・ごみを捨てない、というポスターとかいっぱい作る
- ・一週間に、ゴミを拾ってくれるように、ポスターを作って、町の人によびかける
- ・今やっているようなプラごみの分別や4つの「R」を意識すること。
- ・狛江の皆が気をつけて、段々とごみを減らす。
- ・もっとゴミ拾いなどを行うようにする
- ・ゴミ拾い活動などを週何回かやったらいいと思います。
- ・使える物は、リサイクルをする。
- ・プラスチック製の物を少なくしたり、ゴミを海に捨てたりしないようにする。

- ・もっとリサイクルや、ゴミの分別をちゃんとしようということが書かれたポスターを市の中のいろんな所に貼って、市の人に認知させたらいいと思います。
- ・環境問題についての学習を取り入れる
- ・排気ガスを減らす
- ・食べ残しをせずゴミをできるだけ減らす。
- ・ゴミを減らそうと呼びかける
- ・ポイ捨てをしないで安全な地域になる
- ・タバコのポイ捨てだめ!の手紙を配る。ポイ捨てをなくす。
- ・SDGsのことを思ってみんなが協力できる街
- ・河原にお金を入れると開くゴミ箱を設置する。ポスターで広める。
- ・ポイ捨てをしないように呼びかけのポスターを貼る
- ・ごみを減らす良さなどをPRする。
- ・プラスチックゴミを、入れて小さくする機械をもっと身近な所に置いて欲しい。
- ・環境ポスターをたくさん貼ったり、分別のゴミ箱を分かりやすくする。
- ・ビニール袋を高くするか無くす
- ・定期的にイベントを開催する
- ・ボランティアのゴミ拾い活動を行ったり、ゴミが溜まっている場所に人を置いて、ポイ捨てを減らす。
- ・ボランティア団体などでゴミ拾いをしてゴミを減らす
- ・リサイクルできるものを使う
- ・ゴミの分別やポイ捨てを少なくするためにみんなが気をつけて協力し合う
- ・タバコの吸殻などがまだあるので、「ゴミを捨てよう」というポスターをはる。
- ・川でゴミを捨てないように呼びかける ゴミの分別をするようにいう
- ・タバコの吸い殻やゴミ袋をなくす
- ・お菓子など、ゴミの出るものは、食べ終わったらちゃんと家に持って帰る。もしゴミが落ちていたら、自分じゃなくてもゴミを持って帰る
- ・地面にカンバンを付けてゴミを地面に捨てるなど書いてあるカンバンを付ける。
- ・ゴミをリサイクルした原料を使用したものを開発する。
- ・木を植える活動をする。
- ・環境に優しい電車などで通勤
- ・狛江は自然が多い方だと思うのでその自然を守れるようにプラスチックのものを少しずつ減らしていく、そんな取り組みをできると良いと思います！
- ・ボランティア活動で多摩川以外もゴミ拾いや、電気自動車を増やす、そして各自の家で水道に油を流さないなど意識する、などのポスターを作る
- ・リサイクルや分別などをみんなが正しく理解できるようにリサイクルや分別の仕方を説明する。

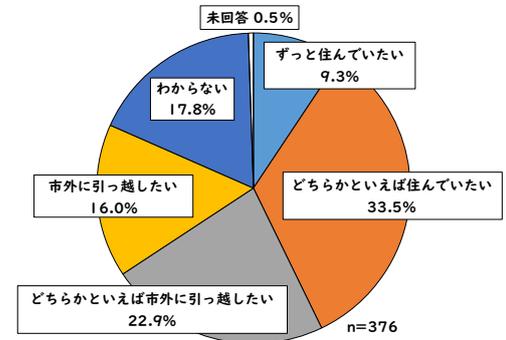
【4 バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち】（一部抜粋）

- ・工事をして、道路を広くする。
- ・もっとバス停を増やしたり自転車だけの道を作ったりする。
- ・バスを無料にする 自転車専用の道路を作る
- ・バス停の数を減らしてバスの本数を増やす
- ・小田急電鉄やバスを増やしてたり速いやつを走らせる
- ・道路の整備
- ・歩道や道路を広くする
- ・地下にも道路を作ったりして交通渋滞や事故を減らし、通行止めをなくしバスや自転車を通りやすくする。
- ・バス専用の道路を作り、バスが渋滞に巻き込まれないようにするか、路面電車を通し、移動しやすいようにする。
- ・工事をして道路を増やす
- ・バスの運転士を増やしたり、バスの量を多くしたりすると思います。
- ・道路を広くする
- ・子供だけでは危険な車が多く通る道路とは違い車が通れない小さな道路を作る
- ・平らな道を増やしてほしい。
- ・通りやすいようにゴミを捨てない
- ・駐輪場を増やす
- ・道を広くしたり自転車だけが通れるような道を作ってほしい
- ・道路を広くしてバスが通りやすくしたり、駐輪場を大きくしてほしい。
- ・バスを和泉多摩川駅にももっと通してほしい
- ・道が細くて通りづらい道があるから広くする
- ・段差を小さくする
- ・停留所や自転車のお店などを、多くする。
- ・坂道を減らす

中学生

問 大人になっても「狛江」に住み続けたいと思いますか。

	票数	構成比
ずっと住んでいたい	35	9.3%
どちらかといえば住んでいたい	126	33.5%
どちらかといえば市外に引っ越したい	86	22.9%
市外に引っ越したい	60	16.0%
わからない	67	17.8%
未回答	2	0.5%
合計	376	



問 住んでいたい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
住みなれていて愛着がある	114	37.4%
家族と暮らし続けたい	45	14.8%
自然環境がよい	54	17.7%
交通の便がよい	28	9.2%
買い物の便がよい	17	5.6%
図書館や体育館などの施設が充実している	10	3.3%
レジャー・娯楽施設が充実している	0	0.0%
子育てしやすそう	15	4.9%
今後発展しそう	4	1.3%
防犯・防災など安心して住める	14	4.6%
その他	4	1.3%
合計	305	

問 引っ越したい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
ほかのまちに住んでみたい	89	34.4%
実家から離れてみたい	34	13.1%
自然環境がよくない	7	2.7%
交通の便がよくない	8	3.1%
買い物の便がよくない	27	10.4%
図書館や体育館などの施設が充実していない	12	4.6%
レジャー・娯楽施設が充実していない	38	14.7%
子育てしづらそう	4	1.5%
今後発展しなそう	27	10.4%
防犯・防災など安心して住めない	2	0.8%
その他	11	4.2%
合計	259	

問 「狛江」にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		票数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境にやさしいまち	149	15.9%	2位
2位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲が良いまち	141	15.1%	9位
3位	犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	141	15.1%	3位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	105	11.2%	6位
5位	地震や台風などの災害に強い安全なまち	98	10.5%	7位
6位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	74	7.9%	8位
7位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	69	7.4%	1位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	45	4.8%	4位
9位	商店街などのお店が多くて活気があるまち	41	4.4%	5位
10位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	24	2.6%	10位
11位	その他	20	2.1%	12位
12位	狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち	17	1.8%	11位
13位	高齢者や障がいのある人がいきいきとすごせるまち	11	1.2%	13位

問 選んだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【2 多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち】(一部抜粋)

- ・多摩川住宅の自然をそのままにする。公園に木を植える。そこでスポーツもできるようにしてほしい。桜並木などを定期的に管理する。
- ・畑をなるべく残す
- ・バスケットをもっと増やしてほしい
- ・多摩川清掃など自然を守る活動をもっと増やす
- ・もっと木を植える
- ・ゴミを減らして植物の種をまく。
- ・公園やショッピングモールなどの施設をふやす
- ・木の伐採や畑の開発を最小限に抑え、自然を守る。
- ・家をふやしすぎない

- ・多摩川や野川でいろいろなイベントなどを開催して狛江の良さを東京の人に伝える
- ・公園などにインセクトホテルなどを作り狛江市の生物多様性を豊かにしていく。
- ・住居をつぶして、大きな公園にし、公園を無料化しつつ充実させて市としての知名度を上げる。
- ・資金を集めたりする
- ・もっと木などを置く
- ・最近どんどん住宅地ができてきて多くの家が建てられているけれどその反面、畑などが減ってきているように感じられて「水と緑のまち狛江」なのに緑がへってきているのではないかと思います。私の家の近くの畑も数年前なくなり住宅地になってしまい、その果て家の隅には毎年春になるととてもきれいな花が咲いていたり、筑紫が沢山あったりそれを楽しみに毎年その畑まで散歩にいていたのでとても残念でショックでした。
- ・どの学校でも清掃活動やポイ捨て禁止の呼びかけやポスターの作成をしていく
- ・公園をたくさん作り子供たちが楽しく暮らせるようになってほしい。また、広くて犬を放してもよい芝生のある公園も欲しい。
- ・緑道に花を植えたり日あたりをよくしたりもっと明るくなってほしい。
- ・川をきれいに掃除して水の中に入れるくらいにする
- ・市が指定する緑地を作る
- ・工事とかしすぎない
- ・緑を守る運動
- ・森とか木とかを残したりする
- ・地産地消をがんばる
- ・ゴミが増えないように学校単位で清掃をする。ただの清掃じゃいきずらいから宝探し形式にしたり清掃が終わった後その学校ごとで遊ぶ時間を設けたりすれば明るく清掃活動ができるようになると思う。

【3 ごみが少なく環境にやさしいまち】（一部抜粋）

- ・ごみの分別をしやすくする。ごみ袋の色分けなど
- ・清掃会をもっと定期的に実施。→広報とかでもっと伝える
- ・お偉いさんの力を借りる。（例えば小池百合子都知事みたいな方に多摩川や野川の清掃に参加していただく）
- ・ゴミ袋、全部水色ではわかりずらいので、可燃を黄色、不燃をピンクに戻してプラスチックを水色にしたほうが絶対にいいと思います
- ・呼びかけ(チラシ、小中学生などには直接)
- ・最近課題になっているプラスチックのごみ削減に向けて、より呼びかける。
- ・最近ごみの分別の仕方が変わったが、あまり詳しいことを知らない人もいると思うの

で、少しずつ呼びかけるのがいいのではないか。

- ・道路や公園などに落ちているごみがあったら拾ったりボランティア活動をして街をきれいにする。
- ・リサイクルや再生可能なエネルギーを多くつかうなどの取り組みをするのがよい
- ・自分たちでゴミをとる
- ・注意書きなどを多く設置する。
- ・ポイ捨てしない
- ・ポスターを作りみんなが興味を持たせる
- ・ゴミの分別を狛江市民、全員が協力する
- ・市内にゴミ箱を設置する
- ・ポイ捨て禁止のポスター設置。
- ・ゴミを出さない
- ・ラジオなどで、呼びかける
- ・植物などをたくさん植えたり、あまり暑くない時はエアコンを消すなど
- ・多摩川清掃を多く活動する。(月1など、) 野川清掃や歩道、道路の清掃の活動もする。
- ・一人ひとりがエコバッグの持ち込み、ポイ捨てをしないなど身近にできることから継続していけばよいと思う。難しいことをして効果が大きかったとしても絶対継続できないと思うしやりたいと思わない。SDGsについてまず知って今までやってきた対策や身近にできる対策を続けてその対策を常識にしていけばいいと思う。
- ・月1など、なるべく多くゴミ拾いの活動をする(多摩川清掃) 多摩川だけでなく道路、歩道清掃や野川清掃を始める。
- ・ボランティアを募って市内のごみ拾いをする。
- ・たまに道にプラのごみや吸い殻が落ちているのでポイ捨て禁止の呼びかけなどをする
- ・ポイ捨てした人などを見かけたら罰を与える
- ・色々なところにゴミ箱を置く【分別できる】

【4 バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち】(一部抜粋)

- ・都市を発展させるしかない
- ・駐車場を明るくする。
- ・自転車専用レーンを作る
- ・狛バスの逆回りを作る
- ・道路を整備する
- ・誰でも簡単に移動できるようになってほしい
- ・バスなどのいける地域を増やす
- ・高速道路を作る

- ・道路を広くする
- ・駒井町地域にもバスを運行してほしい
- ・バスが通れるような道を増やす、カーブミラーを増やす、みちの整備、駐車場を増やす(無料の)
- ・バス停が家の近くになくて困っている人がいると思うからバス停を増やしたりする。
- ・道幅を広げる
- ・チャリ専用道を作る
- ・遠くに行くときも安くて移動がしやすいようにしたい
- ・自転車などが通りやすくなるようにガードレールを取り付ける 高齢者が多いところにバス停などを設置する
- ・電車の本数やバス停やそもそものバスの数を増やし、交通が盛んになるようにする。また、道路の広さや歩道の幅などを調節する
- ・交通を発展させる
- ・道が狭いところをもっと広くする。学校に行くとき、自転車を使えるようにする。
- ・道路ががたがたな道も多いので、まずは小さい子にも安全のように道路を整備して狭い道路を広くしてほしいです。
- ・白い線を書きなおす
- ・バス停やバス乗り場を増やすこと。
- ・どこの場所にも簡単に行けるようなバス停を作り、バスでの外出が自由に出来るようにする。
- ・自転車専用道路が欲しい
- ・車道は分かれているのは当然だけど歩行者と自転車それぞれ白いラインをひくだけでもしたら事故も防げると思うし、いいと思う。
- ・道路の拡張工事をして、狭い歩道を広げ、歩行者と自転車が分かれている道路にする遊歩道で、サイクリングスペースをつくり、歩行者と自転車の事故削減をめざす

③【狛江高校まちづくりに関するアンケート】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、総合的な探求の時間において狛江市について学習した狛江高校3年生が狛江市が更に取り組むべきだと思う項目等を把握し、検討の基礎資料とするため、アンケートを実施した。

(2) 調査設計

- ・調査対象…狛江高校3年生
- ・生徒数……314人
- ・調査期間…令和5年9月11日～28日

(3) 調査項目

- ・住んでいる場所
- ・住んでいるまちは住みよいと思うか。
- ・将来、狛江市がどのようなまちであれば住みたいと思うか。
- ・総合的な探求の時間で取り組んだ分野
- ・狛江市が更に取り組むべきだと思う項目
- ・自由記述

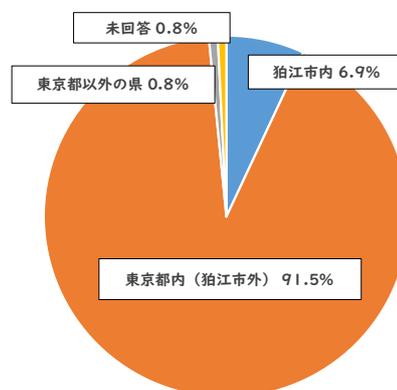
(4) 回答結果

260件（回答率82.8%）

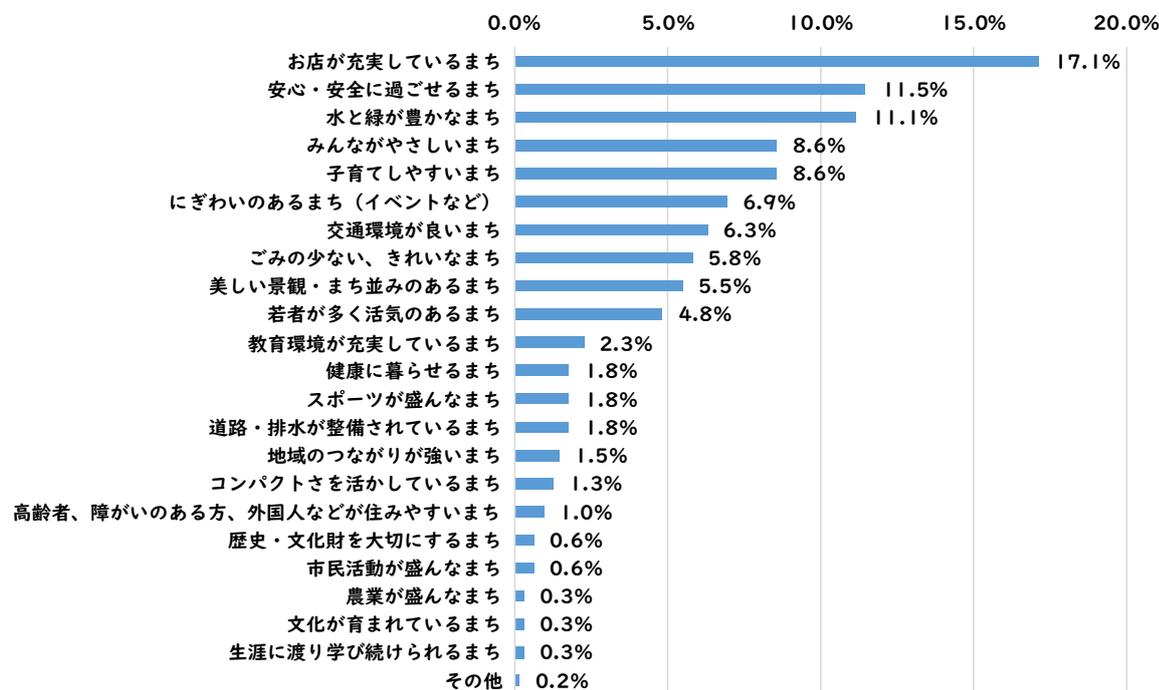
○調査結果

問 住んでいる場所を教えてください。

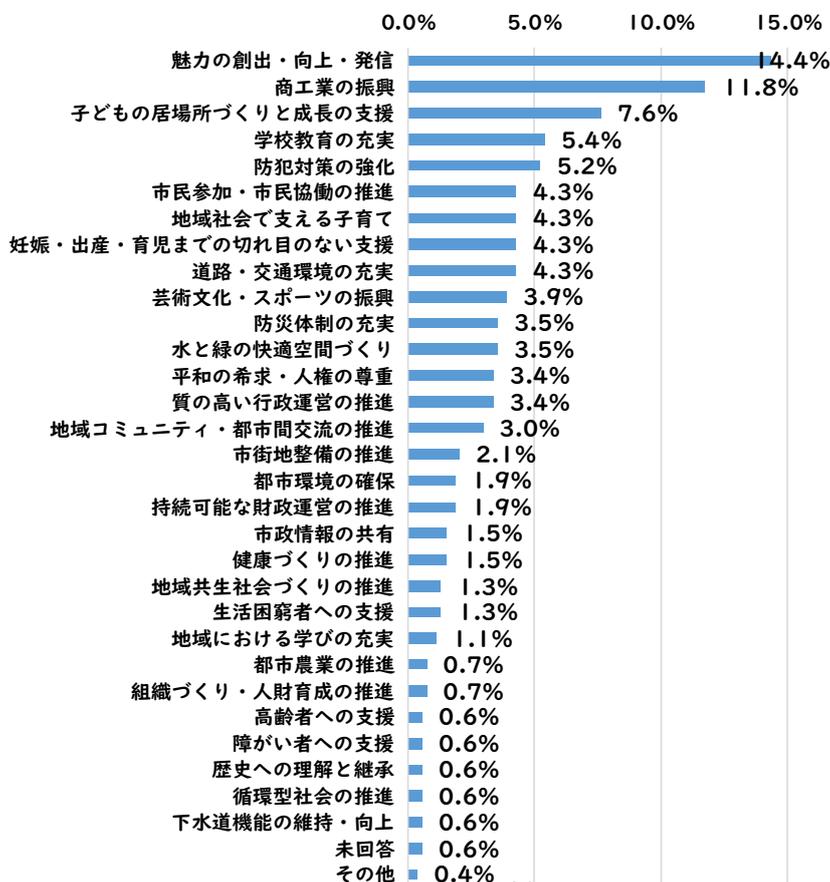
	回答数	構成比
狛江市内	18	6.9%
東京都内（狛江市外）	238	91.5%
東京都以外の県	2	0.8%
未回答	2	0.8%
合計	260	



問 将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思いますか。
(当てはまるものを3つまで選択してください。)



問 狛江市が更に取り組むべきだと思う項目を教えてください。



④【狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ】

○ワークショップ概要

(1) 目的

市民が感じている狛江市の魅力・課題、住みたいまちの姿、市民・市（行政）ができることについて話し合い、狛江市後期基本計画策定に係る基礎資料とする。

(2) 開催日時・場所

令和5年12月16日（土） 狛江市防災センター

(3) グループ構成・人数

グループ	分野	人数
A	男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業	6人
B	防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり	4人
C	子育て・教育・青少年	3人
D	保健・福祉・健康づくり	5人
E	生涯学習・芸術文化・歴史	4人

計 22 人

(4) プログラム

内容	時間
説明	20分
自己紹介	5分
①狛江市の魅力・課題について	40分
休憩	10分
②住みたいまちの姿について	45分
休憩	10分
③市民・市ができること	40分

(1) 狛江市の魅力・課題について

狛江市の魅力と課題についてグループごとにブレインストーミングにて話し合っていたきました。※重複するもの、専門用語等の一部文言は整理しています。

Bグループ（防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり）

魅力	課題
<p>《コンパクト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな町、市がコンパクト ・道路が歩きやすい ・土地が平坦で移動しやすい ・自転車で端から端まで行ける ・コマバスで移動できるので便利 <p>《自然環境・景観》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑が多い ・多摩川、野川が近い ・多摩川辺りの自然環境景観 ・富士山が天気が良いと見える <p>《交通の便》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い ・郊外へも都心へも行きやすい ・都心へ電車で一本 <p>《イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縁日（市民イベント）活気がある ・花火大会 ・音楽の集まり、機械が多い <p>《TVドラマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまにテレビに狛江市出る。 ・なんでも鑑定団 ・はりせんぼんはるな・おいでやす小田 ・堺まさとさん、君の名は、聖地巡礼、オタ活 <p>《子供が多い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉多摩川駅学生多い。 ・子供多い。 <p>《他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政が近い ・狛江駅前結構何でもある 	<p>《防災、防犯》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水害、台風19号、線状降水帯 ・災害時の対応 ・防犯対策（駅から離れるとけっこう暗い） ・氷川神社の脇道暗い <p>《エンタメ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽もっと前面に ・学生楽しめるイベントもっと！ ・文化（音楽）創造（絵手紙）発信（タレント、ドラマ撮影） <p>《住》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション老朽化 ・高齢化により若い人が住みたい街に ・水道局用地エリアの再開発 ・町会の中での戸建て、アパート ・歩道と自転車の運行 <p>《食》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパー欲しい ・飲食店の充実、少ない ・個性的なお店がほしい <p>《財政》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政が不安 ・企業誘致できないか（外資）

(2) 住みたいまちの姿について

(1) の魅力と課題を抽出していただいた後に住みたいまちの姿とまちのキャッチフレーズをグループごとに話し合っていました。

Bグループ (防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり)

住みたいまちの姿
<ul style="list-style-type: none">・災害に強いまち・安心安全なまち・自然環境が豊かなまち・若い人が楽しめるまち・商店街と多摩川とイベントが一体化
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none">・災害に強く、安心安全なまち・自然環境が豊かで、若者が楽しめるまち

(3) 市民・市（行政）ができることについて

(2) 住み続けたいまちの姿に向けて「わたしたち（市民）と市（行政）ができること」について話し合っていました。

B グループ（防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり）

市民	行政
<p>《災害》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備える、備蓄する ・避難場所確認 ・地域で自主的に防災に備えて集会、訓練をする <p>《商店街活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉多摩川商店街の活性化 ・狛江高校と市民や商店街との連携 ・エッジの効いた店を誘致 ・周囲の人との積極的なコミュニケーション <p>《地域復興》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江で飲食、買い物をする ・スポーツ振興 ・アニメ、ドラマ聖地にする <p>《イベント参加》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的にイベントに参加する ・イベント企画の協力 <p>《PR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江のPR、シティセールス ・大学生に狛江を知ってもらう <p>《ライフスタイル》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職住近接型のライフスタイル 	<p>《防災・防犯》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の非常時の具体的な防災行動マニュアルを作り、学ぶ場を作る ・災害時の対応を周知させる。（避難訓練等） ・安心安全のためのイベント（防災カレッジ等） ・具体的な安心安全の施策が分からない、市民に伝わっていない（空き家対策等） <p>《企業誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業の誘致（財政、財源の確保） ・水道局用地の活用 <p>《イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント主催 ・市民参加型のイベントを増やす ・様々なイベントによる集客を市民協働で行う <p>《市のイメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブな街のイメージづくり ・流行を読み、それに対応したお店を置く <p>《特産物》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産物（枝豆）をもっと全面に押し出す

⑤ 【狛江市前期基本計画推進プラン（令和4年度進捗状況報告書）

一部抜粋】

前期基本計画に掲げる指標の推移

■ まちの姿7 自然を大切にし、快適に暮らせるまち						
施策7-① 水と緑の快適空間づくり						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	市内の緑が豊かだと感じている市民の割合（%）	83.9	88.8	89.9	89.9	88.0
施策7-② 都市環境の確保						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	太陽光発電設備、家庭用燃料電池等に対する市の助成金交付事業の利用件数（件）★（ ）内は当該年度の利用件数	284	418 (70)	518 (100)	609 (91)	650
2	市内の美化活動に参加したことのある市民の割合（%）	23.8	26.6	23.0	22.7	29.0
施策7-③ 循環型社会の推進						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	市民一人当たりの年間ごみ排出量（kg/年）	241.75	254.82	251.25	244.99	236.6
2	ごみの資源化率（%）	37.3	37.3	36.7	36.0	38.2
施策7-④ 下水道機能の維持・向上						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	雨水管渠の整備率（%）	77.8	78.0	78.0	78.0	80.0
2	雨水浸透ます設置基数（基）	10,469	11,106	11,533	11,842	12,100
施策7-⑤ 市街地整備の推進						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	地区計画策定件数（件）	5	5	5	5	8
2	まちづくり協議会等の設置件数（件）	2	9	10	10	5
施策7-⑥ 道路・交通環境の充実						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	修繕を行った道路の延長（m）★（ ）内は当該年度の延長m	-	1,884.4	3034.9 (1150.5)	4,009.0 (974.1)	9,000
2	市内交通事故発生件数（件）	79	77	96	122	60
3	市内自転車関与事故件数（件）	31	47	68	75	25

主要事業の取組

<p>■ まちの姿7 自然を大切に、快適に暮らせるまち</p>			
<p>施策7-① 水と緑の快適空間づくり</p>			
<p>▼方向性1 緑の保全・創出</p>			
<p>・ 地域制緑地に係る制度等を活用し、樹林地や生産緑地といった民有地等における緑の減少に歯止めをかけるとともに、グリーンインフラの視点をもって緑の保全・創出に向けた取組を進めます。</p> <p>・ 公共施設はもちろん、民間施設や住宅地にも緑があふれるよう、緑視率の向上等の緑の質にも着目して取り組むとともに、緑道の整備や道路緑化、街路樹の健全な育成・更新を通じて、質の高い緑のネットワークづくりに取り組みます。</p>			
<p>▼取組状況</p>			
<p>主要事業 59</p>	<p>緑の保全・継承</p>	<p>関係部署</p>	<p>地域活性課／環境政策課</p>
<p>概要</p>	<p>市民の貴重な財産である緑について、多摩川や野川、狛江駅前の弁財天池特別緑地保全地区の保全を進め、次世代に継承していきます。また、農業施策との連携も含めた農地の保全を進めています。</p>		
<p>R4年度の取組</p>	<p>【取組内容】</p> <p>○市内8箇所の市民農園及び2箇所の体験農園87区画の利用により市民が農業に身近に触れる機会を創出した。</p> <p>○狛江弁財天池特別緑地保全地区のうち、市が管理する区域について、市民の会と連携し樹木等の適正管理に努めた。</p> <p>○市で管理している3箇所の樹林地について、委託業者による樹木の剪定や除草作業を実施することで、樹林地の保全に努めた。</p> <p>○4月に開催した多摩川統一清掃には1,625人、10月に開催した野川美化清掃には295人が参加し、清掃活動を通じて緑の保全意識の啓発に努めた。多摩川統一清掃では、脱プラスチックにおける市役所の率先行動として、環境に配慮した紙製のクリアファイルを参加記念品として配布した。</p>		

▼取組状況			
主要事業 60	緑の創出・ネットワーク化	関係部署	施設課／環境政策課／道路交通課 ／整備課
概要	市全域が彩り豊かな緑でつながる緑のネットワークの構築に向けて、公共施設の緑化や街路樹の適正管理等を行っています。また、市民自らによる住宅・地域の身近な緑の創出を推進するため、補助制度や即売会、緑化相談等に取り組み、市民協働による緑のネットワーク化に取り組んでいきます。		
R4 年度 の 取 組	【取組内容】 ○宅地等の開発事業31件に対し緑化基準に基づく指導を行い、市内の緑化に努めた。 ○緑のまち推進補助制度に基づき1件の補助を行い、民有地の緑化推進を図った。 ○保存樹木等剪定助成制度に基づき8件の助成を行い、保存樹木の保全に努めた。 ○市内造園業者と連携し、花・苗木の即売会及び緑化相談を実施することで、市民による住宅や地域の緑化を創出、緑のネットワーク構築を促進した。 ○公園のアドプト団体の希望に応じて花苗等を68株供給し、市民による緑化活動を推進し、緑の創出に寄与した。 ○通行の支障とならないよう剪定（低木等刈込み：10,020.4㎡、高木・中木剪定：959本、223.8m）や植替え（低木：700株、高木：2本）を実施し、街路樹を適正に管理した。 ○花いっぱいエリア事業を行い、狛江第三中学校1,992株、狛江第三小学校70株の花を植え、道路の緑化を推進した。 ○街区公園として都市計画決定を受けている（仮称）駒井公園において、整備に向け、2件315.85㎡の用地取得を実施した。		
▼方向性3 魅力的な公園の整備・維持管理			
・和泉多摩川緑地への都立公園誘致や都市公園・緑地等の着実な整備により、市民の憩いの場となるような魅力的な公園づくりを進めます。 ・既存の小規模公園の一つひとつに特色を持たせ、利用者が目的に応じて公園を選べるよう、機能の再編・再整備を進めます。 ・新たなアドプト団体の設立や団体の会員数の増加に努め、市民による市民のための公園づくりを進めます。			
▼取組状況			
主要事業 61	都立公園誘致、古墳公園の整備	関係部署	まちづくり推進課／整備課／社会教育課
概要	平成27年度に策定した和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想を基に、東京都と引き続き協議を進めるとともに、広く市民の理解を深めるフォーラム等を開催していきます。また、令和2年にオープンした猪方小川塚古墳公園や亀塚古墳公園の適切な維持管理とともに、土屋塚古墳及び白井塚古墳の整備を推進し、地域性を踏まえた魅力的な公園づくりを進めていきます。		
R4 年度 の 取 組	【取組内容】 ★都市計画マスタープランに和泉多摩川緑地周辺を都立公園誘致に向けた都市計画上の課題の整理、適切な土地利用の検討、公園を中心とした周辺まちづくりのあり方の検討等を東京都と情報共有し公園まちづくり推進エリアを位置付けた。 ★白井塚古墳において、埋蔵文化財が確認されたことに伴い、白井塚公園の事業施行期間を5箇年延長とする変更認可取得をした。 ○12月にドローンを活用した狛江市公園フォーラムを開催した。 ○白井塚古墳では、古墳公園整備に先立つ発掘調査を行った結果、墳頂に複数の埋葬施設が残されていることが確認され、今後の保存整備計画の検討に向けて現地保存の措置をとった。 ○白井塚古墳において、保存状態の良い礫郭が出土し従前の設計では掘削範囲が礫郭に影響し保存が困難となるため、擁壁工事見直しのため「擁壁構造調査委託」を実施した（再掲）。 ★都立公園誘致に向けたまちづくりの課題を共有するための情報交換を、狛江市にて開催し、和泉多摩川緑地の現地確認や整備事例にのり情報交換を実施した。		

▼取組状況			
主要事業 62	魅力的な公園の整備	関係部署	環境政策課／まちづくり推進課
概要	<p>アドプト制度による公園の美化清掃等、市民とともに公園を守り続ける取組を推進していきます。また、既存の公園の一つひとつに特色を持たせる小規模公園の機能の再編・再整備の検討を進めています。</p>		
R4 年 度 の 取 組	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園のアドプト団体の希望に応じて花苗等68株を供給し、市民による緑化活動を推進し、緑の創出に寄与した（再掲）。 ○広報こまえて思いやりベンチ事業の周知を図り、思いやりベンチ1基の寄附を受け、小足立児童グラウンドに設置した。 ○アドプト制度による公園の美化清掃等に18団体が市内18箇所で行き組み、公園の維持・保全を推進した。 ○前原公園・小足立のびのび公園では、各自主管理団体と連携した管理により、魅力的な公園の維持・保全に努めた。 ○野川緑地公園や西河原公園等の公園では、幹周60cm以上の高木の剪定を行う等、樹木の適切な維持管理に努めた。 ★小規模公園の機能の再編・再整備を検討するため、市民アンケートにより公園に対する市民ニーズの把握に努めた。 ★遊具保守点検結果を基に、老朽化に対する安全対策の強化、改修等に係るコストの縮減や平準化等を目的として、公園施設長寿命化計画を令和5年3月に策定した（再掲）。 ★12月に泊江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画を策定し、「公園・緑地の整備・保全や機能再編・再整備」について方針を示した。 		

施策7-② 都市環境の確保			
▼方向性1 脱炭素社会の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の推進に向けて、公共施設から排出される温室効果ガスの削減や事業者の省エネ行動の推進等に取り組めます。 太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、市民の省エネ行動の更なる浸透・定着、省エネ型の住宅や家電製品等を選択することに対する意識の向上を図ります。 			
▼取組状況			
主要事業 63	脱炭素社会の推進	関係部署	環境政策課／清掃課
概要	<p>温室効果ガス削減のため、市の事務事業を対象とした取組と事業者の省エネ行動の推進を図ります。また、日常生活における省エネ行動の推進だけでなく、次世代自動車の選択推進、太陽光発電等の導入推進等の市民意識の向上を図ります。</p>		
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <p>★ゼロカーボンシティ宣言に基づき、温室効果ガス排出量や再生可能エネルギーの活用状況等を調査し、必要となる施策や目標、長期的な取組の方向性を示した狛江市ゼロカーボンシティシナリオを策定した。</p> <p>★新たに市内の全小中学校へ100%再生可能エネルギー電気を導入し、約680t-CO₂の二酸化炭素排出量を削減した。</p> <p>○東京都、狛江市商工会及び企業と連携して市内事業者向けの講演会を12月に行い、6社9人に省エネの実践手法や補助金制度等を伝え、事業所の省エネ行動の推進を図った。</p> <p>★「こまエコまつり」が第50回を迎えたことから、9月17日、18日の2日間開催に拡大するとともに、VR・デジタル地球儀等デジタルコンテンツの導入等により内容を充実させたことで、約2,400人ももの来場者に環境保全意識の啓発を行うことができた。</p> <p>また、新たに「エコパートナー養成事業」を実施し、環境保全に関する講座（8回開催）に参加した140人の市民等をエコパートナーとして認定することで、参加者の意識・意欲の向上を図りつつ、今後の市民活動の基盤づくりを進めた。</p> <p>★家庭の脱炭素に向け、電気を再生可能エネルギー電気へと切り替えたご家庭にノベルティを提供する「家庭向け再エネ電気導入キャンペーン」を新たに実施し、79件の切替により約150t-CO₂の二酸化炭素排出量を削減した。</p> <p>○太陽光発電設備等の再エネ設備、省エネ設備の導入に対し助成を行う「地球温暖化対策住宅用設備導入助成金」の実施により、91基の設置を支援し、約48t-CO₂の二酸化炭素排出量を削減した。</p>		

施策7-④下水道機能の維持・向上			
▼方向性2 治水対策の推進			
近年増加する集中豪雨への対策として、雨水管渠、雨水貯留施設、雨水浸透施設等の整備を進めるとともに、事業所や一般住宅への雨水流出抑制施設の普及促進により、河川への雨水の流出を抑えることで、治水対策を推進します。			
▼取組状況			
主要事業 64	治水対策の推進	関係部署	施設課／環境政策課／下水道課／整備課
概要	令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえ、浸水対策として雨水浸透施設等の設置を進めていきます。また、助成金の交付等の支援を行い、事業所や一般住宅への雨水流出抑制施設の普及促進を図っていきます。		
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <p>★浸水被害を軽減するため、狛江市下水道浸水被害軽減総合計画を策定した（再掲）。</p> <p>○浸水被害の軽減、地下水涵養等を目的として、雨水浸透ますの設置に対する助成金及び雨水貯留槽の設置に対する助成金を交付した（再掲）。</p> <p>○既設道路集水ますの浸透化工事を実施した（再掲）。</p> <p>○市道第3号線通路新設工事にて7.0㎡、市道第730・732号線道路新設改良工事にて35.8㎡、市道第523・533号線（ぼかぼか広場）整備（第I期）工事にて49.5㎡、合計92.3㎡の雨水浸透施設を設置した（再掲）。</p>		

施策7-⑤ 市街地整備の推進

▼方向性2 適正な土地利用の誘導及び景観価値の確保

- ・様々なまちづくりに関する基本的かつ総合的な方針を示す「狛江市都市計画マスタープラン」を改定するとともに、快適な暮らしを実現するために必要な都市機能や居住の維持・誘導の方針を定める「狛江市立地適正化計画」を策定し、市のまちづくりの指針を示します。
- ・大規模土地利用の転換や都市計画道路の整備等に併せた適切な地区計画の策定等により、地域の実情に応じた土地利用を誘導します。
- ・「狛江市まちづくり条例」及び「狛江市景観まちづくりビジョン」等に基づき、環境やユニバーサルデザインへの配慮を行うとともに、緑や史跡等と調和した狛江らしい景観まちづくりを進め、良好な景観の確保に努めます。

▼取組状況

主要事業 65	適正な土地利用の誘導	関係部署	まちづくり推進課
------------	------------	------	----------

概要
「狛江市都市計画マスタープラン」の改定及び「狛江市立地適正化計画」の策定を進め、市のまちづくりの指針を示していきます。また、住宅団地の建替えや大規模敷地での土地利用の転換等により大規模な開発が行われる場合、周辺地域に調和するような適正な土地利用の規制・誘導を図っていきます。

R4年度の取組
【取組内容】
○岩戸北三・四丁目周辺地区の地区整備計画を検討した。
★12月に狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画を策定し、「地区・エリア」ごとの土地利用の方針を示した。
★国領町八丁目・和泉本町四丁目周辺地区の地区整備計画を策定した。

▼取組状況

主要事業 66	景観価値の確保	関係部署	環境政策課／まちづくり推進課／道路交通課
------------	---------	------	----------------------

概要
「狛江市景観まちづくりビジョン」で掲げている将来ビジョン「環境に配慮し、地域資源を活用したにぎわい・歴史・文化を感じる景観まちづくりの実現」に向けて、多摩川や野川、狛江弁財天池特別緑地保全地区等の緑の保全・創出等を推進していきます。また、「狛江市路上喫煙等の制限に関する条例」を適切に運営し、巡回指導等の対策に取り組んでいきます。

R4年度の取組
【取組内容】
○狛江弁財天池特別緑地保全地区のうち、市が管理する区域について、市民の会と連携して樹木等の適正管理に努めた（再掲）。
○市で管理している3箇所の樹林地について、委託業者による樹木の剪定や除草作業を実施することで、樹林地の保全に努めた（再掲）。
○4月に開催した多摩川統一清掃には1,625人、10月に開催した野川美化清掃には295人が参加し、清掃活動を通じて緑の保全意識の啓発に努めた。多摩川統一清掃では、脱プラスチックにおける市役所の率先行動として、環境に配慮した紙製のクリアファイルを参加記念品として配布した（再掲）。
○グリーン大作戦を開催し、市内同日同時清掃により、多くの市民や団体の方々と協働して快適な生活環境を実現することで、ごみのないきれいな街並みの維持に努めた。
○狛江市路上喫煙等の制限に関する条例に基づき、「路上喫煙等制限重点地区」に指定する狛江駅周辺・和泉多摩川駅周辺で、路上喫煙、たばこのポイ捨て等の違反行為に対する巡回指導業務を実施し、1日当たり3.2件の注意指導を行った他、違反行為がみられる苦情現場へ注意掲示物を設置等することにより喫煙マナーの向上を図った。
○住みやすい景観づくりのため、違反屋外広告物（貼紙・立て看板）を1,018枚撤去した。
★次年度から屋外広告物のLINE通報を開始するため、屋外広告物に関する周知動画を作成、配信した（再掲）。
○住みやすい景観づくりのため、放置自転車を168台撤去した。

施策7-⑥ 道路・交通環境の充実

▼方向性1 都市計画道路等の計画的な整備

- ・市内の南北方向の幹線道路の整備による市内循環ネットワークの確保に向けて、調布都市計画道路3・4・16号線（電中研前・岩戸北区間）の整備を計画的に進めます。また、市道32号線（八幡通り）及び市道34号線の整備に向けた調整を引き続き進めます。
- ・歩行者や自転車の安全確保のために、調布都市計画道路3・4・2号線（水道道路）の整備に向けた東京都との連携を引き続き進めます。
- ・新設の都市計画道路については、良好な景観や防災機能の確保に資するよう、無電柱化による整備を進め、沿道空間の充実を図ります。

▼取組状況

<p>主要事業 67</p>	<p>市内循環ネットワークの確保</p>	<p>関係部署</p>	<p>まちづくり推進課／整備課</p>
<p>概要</p>	<p>市内の行来がより円滑になり、市民生活の利便性向上と地域活性化に資するため、調布都市計画道路3・4・16号線（電中研前・岩戸北区間）や市道32号線（八幡通り）、市道34号線の整備を進め、市内の循環ネットワークの確保を推進していきます。また、調布都市計画道路3・4・2号線（水道道路）について、歩行者や自転車の安全確保のため、整備に向けた東京都との連携を引き続き進めていきます。</p>		
<p>R4年度の取組</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調布都市計画道路3・4・2号線（水道道路）の整備に向け、東京都との連携を進めた。 ○調布都市計画道路3・4・16号線（電中研前）については、南側歩道の電線共同溝整備に向けて、占用企業による占用管路の移設工事を行った。また、調布都市計画道路3・4・16号線（岩戸北区間）については、4件177.18㎡の用地取得を実施した。 ○市道第32号線（八幡通り）整備事業については、小足立のびのび公園入口バス停及び市道第836号線との交差点部の2件、73.26㎡の用地取得を実施し、あわせて道路改良詳細設計を行った。また、歩行空間の確保を目的とした電柱移設については、電気及び通信事業者との調整を行いつつ移設を順次進めた。 ○市道第34号線について沿道事業者との継続的な調整を行った。 		